

自動車・同付属品製造業における切れ・こすれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	16~17	駐車場で丸ノコを使用してマキを製作中手元が狂って、右太股上部を傷つけてしまった。	50	1~9
2	20~21	工場内にて鑄造作業中にコンタマシンにて製品押湯を切断する際に、誤って指が滑り左手親指がコンタマシンの刃に当たり負傷したものである。	31	50~99
3	17~18	工場内で段取の作業中、製品と機械の刃物を調整するため、回転している製品との隙間に十分な余裕があると思い手を入れた。通常は機械を止めてからやることを止めずにやってしまったため、回転していた製品に手をぶつけ、左手中指の付け根辺りを深く切った。	53	50~99
3	17~18	工場で機械の刃具交換作業中、治具を締めている時に手をすべらせた。その際、すべった手が機械の尖った部分に当たって動脈を切っけてしまい、傷口を縫った。	57	30~49
3	19~20	高速カッター機で、薄く長尺物の材料の一部を切断加工する為、前後2名で背中合わせになり、被災者は前方で作業していた。機械の横に材料を押さえる為の角材が置かれていたが、使用せず作業を開始した。材料の端面を押さえながら切断開始位置の確認をしようとしたところ、回転している刃に触れてしまい、すぐ手を離したが怪我となった。	48	10~29
4	17~18	切断丸鋸3号機で通常作業の鋼材ノコ切断を行っていた際に、被災者は現場責任者でもある為生産に追われていた丸鋸作業に入った。現行の切断アイテムが終了したので、作業標準通りの処理を実施し次工程の段取りを行う為、左右の安全扉を開け、鋸刃のチェック・バイスストローク調整等一連の作業を終えた。次工程を開始する為に、メイン電源を入れ鋸刃をスタートしたが、作業標準書に基づく、主バイパス送り装置の切粉除去清掃を行う事にしたが、メイン電源は入った	44	100~299

		ままで鋸刃は回転した状態であった。また清掃は設備の左右の扉を開けて行う際に、鋸刃に巻き込まれ右手を負傷した。		
5	8～9	工場エンジン鑄造部に所属する受傷者は、シリンダーヘッド仕上げ工程にて、夜勤作業終了後、残業で仕上設備の機内不要鉄板及び鉄骨パイプ除去を実施した。鉄板及び鉄骨の一部を電気サンダーにて切断除去後、機内に残存した右側上部鉄骨を除去する為、粗材クランプ治具上でそんきょ姿勢をとり、電気サンダーで切断を始めたとき、砥石が食いついた反動で電気サンダーが跳ね返り、砥石が右足大腿部に接触し受傷した（8針縫合）。	33	1000 ～ 9999
5	9～10	当社製造現場において、小型プレス機（30cm×30cm・500kgプレス）を使って部品の組付け作業中、プレス後の部品を小型プレス機から取り出そうとした際、部品の上に指を置いてしまい、同時に部品奥のプレススイッチを誤って押ししまったため、指を負傷した。	66	30～ 49
6	18～19	製造現場内にて、ボディの下回りに入り両手でマーキング作業を行っていた作業者と、同時に、上部から電動ドリルで穴あけをしていた作業者がいた。双方の状況確認不足により、上部作業者が電動ドリルで穴あけした際に、下回り作業をしていた被災者の左手があり、中指が電動ドリル先端に触れ、負傷したものである。	21	50～ 99
6	16～17	NC旋盤JKTチューブ内径切削工程にて、通常加工時、ワークに絡んだ切粉をラジオペンチで除去する際に、内径切削にて発生した切粉の状態が細かく、長く伸びており、切粉が長いとため全てを掴みきれず、引っ張った際に伸びた切粉に指が干渉し、切創した。	21	50～ 99
7	15～16	弊社第二工場のプレス作業中、成形に必要な材料を端材部分を手で持って引っ張る工程がある。その際に鋭利になっている部分を手でつかんで引っ張り作業を行ってしまったため、作業者が右手親指付け根に切傷を負った。	28	50～ 99
7	14～15	会社工場内において、トラックの荷台下にもぐってサンダーをかけていたところ、反動で跳ね返ってきた刃が右の頬の辺りに接触し、切れて負傷した。	26	10～ 29
9	18～	第二工場研磨課ラインに於いて、センターレスの段取り作業中、砥石が止まって	53	100 ～

	19	いると勘違いし、左手を出してしまい、左手第二指先端部を削ったものである。		299
9	11~ 12	プレス作業場で、部品のプレスをしようと鉄板の材料8枚同時に持ち上げ台におこうとした時、手がすべり板の中部分がずれて、すべった鉄板のカドが左うでにあたってしまい負傷したものである。	52	10~ 29
9	13~ 14	NC旋盤機内に切粉が絡んだため、右手中指で手前に払って落とそうとしたが取れず、そのまま手前で引っ張ったため切傷した。	49	100 ~ 299
10	0~1	第二金型工場て材料を旋盤でピーリング作業中、足元に糸状の切粉が溜まったので、右足で退けた時に、右足に絡んだので、右手で切粉を持ち上げたら、切粉が旋盤の爪に引っ掛かり、引っ張られて、右手人差し指を切った。	43	100 ~ 299
10	4~5	第2工場において、作業終了時の途中で、手が滑り左手側面を切創した。ケブラ手袋は持っていたが、作業時は皮手一枚で作業を行っていた。	21	100 ~ 299
10	15~ 16	当社工場内にて型抜き後の樹脂シートを切断する機械に樹脂が詰まって停止したため、機械本体の電源を停止し、詰まりを直そうと樹脂を引っ張った際に右手小指が刃に触れ、負傷した。	44	10~ 29
11	9~ 10	メッキ作業の合間にゴミや段ボールを集め捨てようと、右手に段ボール・ナイフ、左手にビニール袋を持って移動していた際、スポットクーラーが通路に出てきた為、手で押し戻した。スポットクーラーが戻った拍子に棚が倒れ、棚を避けようとした足元に塩酸の槽があり頭から転倒し塩酸が目に入り咄嗟に右手で顔を覆った時に誤ってナイフで顔を裂傷した。	27	100 ~ 299
11	13~ 14	10枚ほど重なった状態で容器内に入っていた製品を両手で持ち上げた。運搬する際、荷姿が悪いと判断し、荷姿を変えようと反転しようとした。その際、重みで製品が斜めになり滑り、右手中指を切傷した。	58	100 ~ 299
12	11~12	当社工場内で、プレス加工に使う材料（コイル材）の端をゴム手袋をして左手に持ち、送り装置に通す作業で、アンコイラの正逆転スイッチを正転に切り替えるのを忘れたため（逆転のままの状態）、持っていた材料がアンコイラへ引き戻さ	49	30~ 49

		れた。その勢いで材料の側面をつかんでいた左手親指を裂傷した。		
12	9~10	当社内で研磨加工中、機械が回っているところにうっかり手を出してしまい、怪我をした。	46	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html